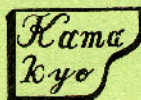


鎌倉交響樂團

第23回定期演奏會

5月25日(土) 6:30 p.m.

鎌倉市中央公民館



鎌倉交響楽団第23回定期演奏会

後援 鎌倉市教育委員会

鎌倉音楽クラブ

曲 目

指揮 吉 水 洋

1. 歌劇「魔 笛」序曲 K.620 モーツァルト

2. オーボエ協奏曲 テレマン

第1楽章 アレグロ

第2楽章 ラールゴ

第3楽章 ビィバーチェ

休 憩

3. 水上の音楽 ヘンデル

(1) 序 曲

(2) アダージョ スタカット

(3) アンダンテ

(4) アリア

(5) ホーン パイプ

4. 交響曲第八番「未完成」 シューベルト

第1楽章 アレグロ モデラート

第2楽章 アンダンテ・コン・モート

曲目解説

「魔笛」序曲

「魔笛」はモーツァルトの最後のオペラであり、ドイツ語の歌詞で書いた唯一の純粋なドイツオペラである。1791年3月に作曲の依頼を受け、同年9月3日の初演に間に合せて完成にこぎつけたのであったが、あれやこれやと無理がたたって、その翌年モーツァルトはこの世を去ってしまった。

序曲は *Adagio* の序奏と *Allegro* の主部からなり、その序奏は二本のトロンボーンと他の全楽器が輝かしい和音を奏奏するファンファーレで開始される。これはオペラ中のイジスの殿堂でタミーノが試験に立つ時に奏される同じ和音で、宗教的なおごそかなものを感じさせるものである。これに続くアレグロの序曲主体部は、コツコツと練磨するような律動的なフーガ主題によって開始され、一つのフーガを展開して、第一主題部を構成する。このフーガの第一主題は、展開部においても、対位法的手法をもって間断なく活用され、殆ど全曲を一貫する。このためゆみのないまなな音の動きは、夜の女王の娘パミーナが宗教的聖化に達するという歌劇の本筋に照して、その修練と努力にもたとえられ、又は人間自体を粗雑な石材と見て、その練磨の音とも考えられる。そして次に清浄な愛を表現する作風で知られている第二主題が現われ、短い *Adagio* の序奏主題を抑えて、フーガ風の展開部、次に再現部、最後に救われたパミーナを祝福するように力強いコーダが奏される。

オーボエ協奏曲

ゲオルク・フィリップ・テレマン (1681~1767) は バッハ、ヘンデルよりも4年早く生れ、ハンブルグで活躍した作曲家である。

バッハとも親交を持ち、カール、フィリップ、エマヌエル、バッハはテレマンからフィリップの名を貰っている。テレマンはバッハに勝る多作家であり、ドイツの作曲家の中では珍しい程、イタリヤ風の明るさと旋律美を持った作風で知られている。テレマンはフルート、リコーダー、オーボエ、ヴァイオリン等の楽器とコンチェルト・ティーンとした多くの協奏曲を書いているが、このオーボエ協奏曲は他のイ短調、二短調、ホ長調の協奏曲と共に最もよく知られているものである。

水上の音楽

この一連の作品には、いとも有名な、ほほえましい逸話が伝えられている。ヘンデルがかつてハノーヴァーの選帝侯ゲオルク侯の宮廷に 楽長として奉仕していた 1712~3 年のことであるが、無断で長期にわたりイギリスに滞在をして、再三の帰還命令に応じないために宮廷の怒りを買ったのであるが、後同選帝侯が英国のジョージ一世となって赴任するに及んで、ヘンデルは愈々困った立場におかれてしまった。たまたま外交的手腕にたけた高官の友人の計いで、王のテムス河の舟遊びに寄せて、この一連の音楽を作曲し、これを賑かに奏して王に献じた。この名案は非常な効を奏して土との不和も解け、前にも劣らぬ寵愛を得たというのである。

全曲は序曲に始まる 21 曲の小曲から成り、河の上、青空の下に演奏すべく出来たために、必然的に管楽器が重用せられ（その初演には 50 人が加ったという）、華々しい音量と音色が描き出される。或は弦とオーボエが合奏し、或はフルート群が或はホルン群、或はトラムベツト群が、かわるがわる研ぎそって、終曲は全員挙げて爆爛たる効果を挙げる。全曲は組曲としての舞曲を配列したもので、作曲の動機と目的が上述した通りであるだけに、すべてが陽気な、歓楽をおおる小曲の組合せであり、特にホルンとトラムベツトの響きが輝かしい。時流れ、世移れる今日でも、音楽会の重要な曲目の一つとなっている。

交響曲第八番「未完成」ロ短調

1822 年の作。第六交響曲を書いて、暫く交響曲の創作から手を引いたシューベルトは、五年の沈黙を破ってこのロ短調交響曲を書いた。年代順から言えば現在の第七より先んずること 6 年、従って順序としてはこれが第七に相当するのであるが、シューベルトは、初め二つの楽章のみを書き上げ、第三楽章スケルツォは一頁の総譜とトリオの半までのピアノ・スケッチをかきかけて、あとは未完成のまま放置した。たまたま 1823 年、シューベルトがシュタイアマーク音楽協会の名誉会員として推薦された際、彼はその感謝の印として、同協会の所在地グラーツにいる友人フンテンプレナーに宛てて、この二楽章の交響曲を送ったが、1865 年ウィーンの宮廷指揮者ヘルベックによって発見されるまで、実に 40 年以上を空しくほこりの下積みとなっていた。

シューベルトが何故に未完成のまま放置したかについては何も伝わっているものがない。とまれこれは確かにシューベルトの手に成る最初の至高なる芸術的作品であることは現在の世界が認めている通りである。彼はこの二楽章のみをもって足れりとしたのだろうか。しかし何はともあれ今日これを「未完成」とは呼ぶが、事実は完成品以上の真価を認めて熱狂していることは事実である。

【第一楽章】*Allegro moderato* チェロとバスの音奏する神秘的な導入主題は、静かに最弱奏をもって開始され、続いてヴァイオリンの慄えるような十六分音符音型の伴奏の上に、オーボエとクラリネットの哀愁を訴える甘い、美しい第一主題が現われる。これがホルンとファゴットに助けられながら暫く発展したあと、やがておちつきのある趣きに富んだウインの香り高いレンドラー風の第二主題が、チェロの主奏でト長調に現われ、バスのビチャートとヴァイオリンの切分音が浮き浮きた律動でこれを伴奏する。これは特に印象的な美しい主題であるが、結局この楽章に現われる以上二つの主題は全部が歌謡的又は抒情的な主題であって、それら相互の同じ性格的なコントラストは殆どみられないが、その美しい旋律と色彩的な楽器の使い方の故にうっとりさせられるのである。

【第二楽章】*Andante con moto* 第一楽章の延長のように 静かな コントラバスのビチャートに伴奏される 2 小節のファゴットとホルンの導入によって、感動にみちた美しい主題が高い音域にヴァイオリンの主奏で現われ、二、三の副主題を変えて、或は嘆息をもらすように、或は慰撫するように歌謡音楽美の極致を尽して、最後に平和な静かなホ長調終止を告げるのであるが、楽器編成の効果的な音色は恰も魔術のような不思議さをもって、肉声の如き感銘をもって心に迫る。このような旋律美は蓋し音詩人シューベルトの傷つける魂の歌であって、今後如何に芸術様相が変わろうとも、人の胸を打つことに変わりはないであろう。

名誉指揮者	東	清	蔵
常任指揮者	前	田 幸 市	郎
副常任指揮者	吉	水	洋

[illegible]

ドライクリーニングの店

冬物衣類のお手入は、一日で仕上る

スピーディでお安い

高級仕上の当店へ!!

鎌倉市大町一丁目2番18号



スピードクィーン大町

TEL (24) 9430

②

輸入品雑貨

手作りの店

エンドー

鎌倉市由比が浜1の1の1

電話 0467 { (23) 1057
(24) 9465

夜間 0467 (22) 5488



味とヴォリュームの

登華園

舌の肥えたお客様におとどけする

味のハイセンス

本店 かまくらぎんぎ (0467) 22-0816
23-0816
小町店 かまくらこまち (0467) 23-0523
極楽寺店 つくらじ赤いはし (0467) 23-2989
辻堂店 辻堂新町若松町通り (0466) 36-7984
本社 鎌倉市御成町7番13号 ☎248

いつでも安く
何んでも揃う...

鎌倉 ダルマ薬品

鎌倉小町通り中央 Tel ☎2594-0842

クスリと育児用品

鎌倉東光ショッピングセンター

ダルマ薬局

Tel (24) 3623

ご家庭に経済の安定を約束する

クスリ・化粧品・雑貨
食品・缶詰・菓子

ナイガイ

鎌倉駅前 Tel (22) 2430

洋服の

オーダーメイドは

鎌倉テラー

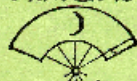
由比ヶ浜通り

TEL. (22) 2408

伝統を生かした最高の味

千羽鶴サブレ

フランス風ビスケット



風月堂

ほんそれいゆ

由比ヶ浜店 TEL. (22) 0963

鎌倉表駅分店 TEL. (22) 2538

延子店 TEL. (71) 4730

~~江の電鎌倉駅名店街~~
~~TEL. (25) 8621~~

江の電鎌倉駅名店街
TEL. (23) 792

フランス料理



小町園

横須賀線下馬ヶ下脇

TEL. (22) 2370

ヤマハ
ステレオで

自然な音を

小林楽器

六地藏バス停近く

(22) 3165